

ナウマン通信



2021年
11月15日発行
第24号

大阪市立我孫子南中学校

時間を守る＝信用



11月15日（月）より「遅刻を減らそうキャンペーン」が始まりました。先週の全校集会で西田先生よりあびなんの1日当たりの遅刻人数が平均26人と他校に比べて、当たり前のことが当たり前にできていない現状があるとお話がありました。この現状を変えていくために生徒会、風紀委員会、図書委員会がタイアップしてこのキャンペーンを始めることになりました。では、なぜ遅刻はいけないのでしょうか？そのことを少し考える意味で今日全校集会で話ししたこと少し補足をして紹介したいと思います。以下、全校集会より。

「自分ならどう思うか。どうするか。そんなことを考えながら聞いてください。」

ある日曜日、友達と13時にあびこ駅で待ち合わせをしました。13時になっても13時10分になっても友達はやってきません。13時30分ようやく友達は慌ててやってきて笑いながら「ごめん。ごめん。」と言ってきました。翌週、同じ友達と同じくあびこ駅で13時に待ち合わせをしました。また、13時になっても友達はやってきません。13時10分になっても友達はやってきました。その次の週も同じく13時に待ち合わせをしました。やはり時間通りにはやってきませんでした。さあ、みんなはどう思いますか？



次の待ち合わせの時には、どうせ友達も遅れてくるだろうから自分も遅れていこう。とかもう2度とその友達とは約束しない。と思いませんか？腹が立つと同時に友達のことを信用できなくなりますか？そうです。時間を守らないということはこうして人としての信用・信頼をなくすことになるのです。中学校の時は遅刻をしても記録としては残りますがそのことで大きく君たちが不利益になることは少ないです。進路にもそんなに影響しません。しかし、高校になると遅刻や欠席の状況に応じて

進級（1年から2年、2年から3年）できないことがあります。また、社会人になれば遅刻ばかりして信用を無くすと会社を辞めなくてはならないことにもなります。という風に「**時間を守ること**」は、「**あいさつをする**」ことと同じように、**大人になってからもずっと大切な約束**なのです。時間はお金では買うことのできない大切なものなのです。

友達が約束の時間に遅れてくると、楽しく過ごす時間が減ってしまいさみしく思います。でも、きちんと守ってくれれば、一緒に過ごす時間や自分のことを大切にしてくれているのだなと思えるでしょう。**時間を守るといのは、人を大切にする、人を信用すること**にもつながってくるのだと校長先生は思います。遅刻は、一度やってしまうと、何度もしてしまう、常習性の高いものです。一度遅刻を経験してしまうと、次に遅刻するのもこわくなるのです。そのため、遅刻の常習犯になってしまいがちなのです。そうならないためにこのキャンペーンをきっかけに決まった時間に登校し、決まった時間の授業を真剣に受け、『時間を守る』大切さを改めて考えてほしいと願っています。